

教 科	科 目 名		
商 業	簿 記		
科目の種類	単 位	形 態	講座定員
2年エリア必修	4	通年	40人

科 目 に つ い て	科目の概要	個人企業における経営活動に伴う取引を正確に記録、計算、整理するための知識と技術を習得する。複式簿記の基本知識と記帳能力を養う。	選択条件	商業経済エリア必修 興味関心があること。 資格取得の意欲があること。 基礎的暗記の得意な者に適する。 50分集中して事務を執ることのできる者。
	年 間 の 授 業 内 容	<p>■1学期(中間テスト 23時間、期末テスト 17時間)</p> <p>1.《簿記の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簿記の基礎</li> <li>・ 資産・負債・資本と貸借対照表</li> <li>・ 収益・費用と損益計算書</li> <li>・ 取引と勘定</li> <li>・ 仕訳と転記</li> <li>・ 仕訳帳と総勘定元帳</li> <li>・ 試算表</li> <li>・ 決算</li> </ul> <p>■2学期(中間テスト 30時間、期末テスト 31時間)</p> <p>2.《取引の記帳》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現金・預金などの取引</li> <li>・ 商品売買の取引</li> <li>・ 掛け取引</li> <li>・ 手形の取引</li> <li>・ 有価証券の取引</li> <li>・ その他の債権・債務の取引</li> <li>・ 固定資産の取引</li> <li>・ 個人企業の資本と税金</li> <li>・ 営業費の取引</li> </ul> <p>■3学期(期末テスト 39時間)</p> <p>3.《決算》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算整理(その1)</li> <li>・ 8桁精算表</li> <li>・ 帳簿決算と財務諸表の作成(その1)</li> </ul> <p>4.《帳簿と伝票》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帳簿</li> <li>・ 伝票</li> </ul>	授業形態	座学であるが、実質は実技科目のようなものである。
			教科書・使用教材	新簿記(実教出版) 全商簿記検定3級用の問題集 全商簿記検定3級用の模擬問題集 電卓
			評価の観点	・世間一般的にいう3級程度の知識を習得することにより単位認定とする。
			評価の方法	・出欠席、課題、授業態度、定期テスト等で、総合的に評価する。
			備考	・積み重ねが大切である。きちんと普通に取り組みれば面白い。 検定料: ¥1,000 問題集代: ¥1,000 計 約¥2,000が必要